



**ワンダー Wonder**  
R・Jパラシオ／中井はるか訳

生まれつき顔に障害がある主人公のオーガストに対する「いじめ」を題材にした児童向けの小説となっています。物語は主人公のオーガストだけではなく、同級生や姉など多数の視点から、それぞれの立場、それぞれの感じ方がリアリティを持って語られています。(あぶた読書の家所蔵)

# 読書の家から

- あぶた読書の家** (☎ 76-2100)  
[時間] 10時～16時20分 [休館日] 木曜日、祝日
- みずうみ読書の家** (☎ 75-4702)  
[時間] 10時～15時 [休館日] 木曜日、祝日
- 洞爺総合センター図書室** (☎ 82-5111)  
[時間] 9時～16時30分 [休館日] なし

## 新刊案内

### ■あぶた読書の家

- ▲一 般▽▽流転の海 第九部 野の春(宮本輝)▽沈黙のパレード(東野圭吾)▽日本の名景 湖(森田敏隆)▽下町ロケット ゴースト(池井戸潤)▽大名絵師写楽(野口卓)▽想い人 あじゃくれ瓢六(諸田玲子)▽ドアを開けたら(大崎梢)▽針と糸(小川糸)▽フーガはユーガ(伊坂幸太郎)▽一線(田中経一)▽当確師(真山仁)▽血の雫(相場英雄)
- ▲**児童書**▽▽ぼくのばしよなの(刀根里衣)▽うっかり玉(大久保雨咲/陣崎草子)▽14歳明日の時間割(鈴木るりか)▽食べているのは生きものだ(森枝卓士)▽ゆきがふったら(レベッカ・ボンド/さくまゆみこ訳)

### ■みずうみ読書の家

- ▲一 般▽▽エムエス 継続捜査ゼミ2(今野敏)▽リベシ(柴田哲孝)▽ラストレター(岩井俊二)▽さよなら田中さん(鈴木るりか)

**絵本の玉手箱 1月のおはなし会**  
**■日時** ①1月18日(金) 14時～15時30分 ②1月21日(月)、2月11日(月) 10時～11時30分  
**■場所** ①あぶた読書の家②あぶた母と子の館  
**■問合せ** 佐藤 (☎ 76-2487)  
**ピノキオの会 読み聞かせ**  
**■日時** 2月8日(金) 14時30分～  
**■場所** あぶた母と子の館  
**■問合せ** 松本 (☎ 76-2613)

### ■洞爺総合センター

- ▲一 般▽▽うしろめたさの人類学(松村圭一郎)▽今日の人生(益田ミリ)▽私たちが孤児だったころ(カズオ・イシグロ)
- ▲**児童書**▽▽たべられるしよくぶつ(森谷憲/寺島龍一)▽もぐらはすごい(アヤ井アキコ)▽森は生きている(富山和子/大庭賢哉)

## 地域おこし協力隊



### 通信

vol.10

今月の  
リポーター  
平岡龍さん



## 洞爺湖

洞爺湖町に住み始めてから2か月が経過し、この町に少しだけ慣れることができました。私は、今まで奈良に住んでいたため、北海道の気候には驚かされることばかりでした。特に、奈良では雪が減多に降らなかったのですが、このまちに来て日常的に雪が降っている光景が一番驚きました。そして、仕事面でも当然ながら大きな変化がありました。

私が奈良にいた頃は、4年半ほど地方銀行に勤めていました。しかし、更に地域に密着した活動をしていきたいと思い、地域おこし協力隊として、洞爺湖町に移ってきました。現在は、道の駅あぶたで活動していて、主に店頭に立って接客をしています。地元の人や観光客の人など、さまざまなお客さんと触れ合うことで、色々な声が聞こえてきます。それは、賛辞の声であったり、改善点を求める声であったり、さまざまです。お客さんの声をもとに、良いところは伸ばし、悪いところは改善し、地元の人は何度でも買物に行きたいと思いい、観光客の人にはまた来たいと思ってもらえるような道の駅にしていきたいと考えています。前職とは違った業務で戸惑うことも多いですが、多くの人に支えられて活動できています。

今後もし早く洞爺湖町に慣れるよう精進し、道の駅あぶたを中心に、洞爺湖町の活性化に役立てるよう努めていきます。